



ドイツの高校生とのオンライン交流会

12月5日の放課後、イングリッシュサークルの一環として、前期後期問わず有志の生徒が集まり、オンラインでドイツの現地学生との交流を行いました。日本側からは生徒で分担して日本の伝統文化やクラマチ、記念祭、合唱コンクールをはじめとした学校行事について紹介し、ドイツ側からは学校の紹介や、時期的にクリスマスを控えていたため、ドイツのクリスマスの慣習などについて紹介を受けました。

感想とまとめ

- ・ It was a very valuable experience for me to hear the "real voices" of the local people, which I could not have understood only from the Internet or books. (3年生)
- ・ オンラインならではのトラブルもありましたが、ドイツについて様々なことが学べました。お互いの言語が話せなくても、英語が話せればコミュニケーションを取れるという状況はやはり素敵だと感じました。プレゼンテーションを行ったり勇気を出して質問したりして、自分自身のレベルアップにも繋がったと思います。(2年生)
- ・ ドイツの方々と文化の違いや面白さについて話し合えて楽しかったです。初めてのリモートでのプレゼンテーションでしたが、みんなで協力して無事に成功させることができました。もっといろいろな文化を聞き出せるよう英語を磨き、精進します！(2年生)

今回の交流会は、英語という言語の特異性を改めて感じさせてくれました。今回交流したドイツの学生たちの母語は英語ではありません。しかし、英語を介せば、日本という遠く離れた、言語も文化も文字通り全く異なった地域の人々とコミュニケーションをとることができるのです。

普段、皆さんは何のために英語を勉強していますか？

もちろん、それぞれ様々な動機があると思います。でも、もしあなたが英語を勉強することに対してモチベーションを持つことができていないなら、英語とは世界中の人々とコミュニケーションをとることのできる素晴らしいツールであるということを考えてほしいと思います。そして、だからこそ、机の上でただ問題集や教科書の問題を解いてその結果に一喜一憂するだけで終わらせずに、ぜひ実際にコミュニケーションのツールとして活用する機会を持ってほしいです。チャンスはあふれています。次の授業の時に、JETの先生に少し話しかけてみる。こんな努力で構いません。大切なのは飛び込む勇気です。

そうすればきっと、今までは見えなかった英語の真の顔が見えてくるのではないのでしょうか。